

事業所名

キッズルーム アクア

支援プログラム

作成日

R6 年

8 月

30 日

法人（事業所）理念		障害児の意思及び人格を尊重し、適正な支援を行う為に必要な人員を確保し、社会適応訓練を個々の特性や環境に合わせて行っていく。				
支援方針		子供の家庭環境や精神状態、障害の特性を理解した上で、その子が学校や社会に出る為に必要な能力を身に付けられるよう努めていく。また、保護者と連携を図り、家庭環境も視野に入れ支援を行っていく。				
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	生活に必要な基本的動作（食事・排泄・睡眠・衣服の着脱など）や生活習慣・リズムが身に付けられるよう、日常生活の中で、発達段階に応じて支援を行っている。目で見て分かるよう、手順の仕方を掲示・提示している。楽しく食事が出来るよう、一人一人に応じた食事形態で食事を提供している。日頃の体調を把握しておく事で意思表示が困難であることに対しても、必要な対応を取る事が出来る。各々がリハビリで取り組んでいる事を、必要に応じて支援の中に取り入れている。				
	運動・感覚	姿勢保持が困難な子どもに対しては、個々に合った補助用具を使用している。身体の運動機能を向上させられる活動の中で（散歩、粗大運動、リトミック、レクリエーション、微細訓練等）発達段階や各々の興味関心に対応し、安全に過ごせるように支援を行う。感覚の過敏や鈍麻の子供に対して、安心して過ごせたり、事故なく生活出来るように、感覚の偏りに対する支援を行う。				
	認知・行動	一人一人の特性を理解し、こだわりや偏食に対して柔軟に対応出来るように支援を行う。コミュニケーションの困難性から生ずる突発的な行動に対して、適切な行動を身に付けられるように支援を行う。視覚・聴覚・触覚等からの情報を、得た情報のまま処理してしまう事から、場面を理解し、状況に合った行動に繋がれるように支援を行う。				
	言語 コミュニケーション	一人一人に合ったコミュニケーションの仕方、他者との正しい関わり方や表現の仕方が身に付けられるように支援を行う。身振り・手振りやジェスチャー、アセスメントツール等を使用し、物事の意味を理解し、状況に合った表現が出来るように支援を行っている。子どもの特性に応じて、その子どもに必要な文字の読み書きの力が身に付けられるように支援を行う。				
	人間関係 社会性	子どもが楽しく、安心して通う事が出来るように、他者との関係性を育む支援を行う。日常生活の中で、不安になったり怒りたくなった時に、大人が介入する事で、自分の感情に折り合いをつけ、気持ちの安定を図れるように支援を行う。一人遊びの子どもには、他者に対しての興味が持てるように、遊び等を通じて、人の動きを模倣したり、ごっこ遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。				
家族支援		家族からの子育てに関する困り事に対する相談援助。子ども一人一人の特性や発達段階に合った支援方法の助言を行う。家族の就労等による、預かりニーズに対応する為の延長支援。兄弟や家族間に関する不安や困り事に対する相談援助。	移行支援		保育所等と併行して利用している子どもや移行する子どもに対しては、必要に応じて通所先へ訪問し、子どもの状態や支援内容の共有を行っている。また、運動会や発表会など、大きな行事時は利用日数の調整を行っている。入学に向けた準備をすすめている子どもは、就学先や移行先の選択についての相談援助やスムーズな移行に向けて、関係機関と情報共有を行う。	
地域支援・地域連携		スムーズな入園や入学に向けて、関係機関との情報共有として、会議の開催や通所先への訪問、通所先からの相援助を行っている。家庭によっては、児童相談所や市の子ども課と情報共有を行っている。子どもが地域の行事に参加出来るように、イベントのチラシを玄関に掲載している。	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の事業所内研修 ・外部研修への参加（事業所内フィードバック） 	
主な行事等		避難訓練（火災、地震、水害、防犯）、粗大運動、リトミック活動、微細訓練、交通ルール（散歩） 季節の行事（初詣、節分、お花見、父の日・母の日の制作、プール、夏祭り、ハロウィン、クリスマス）				